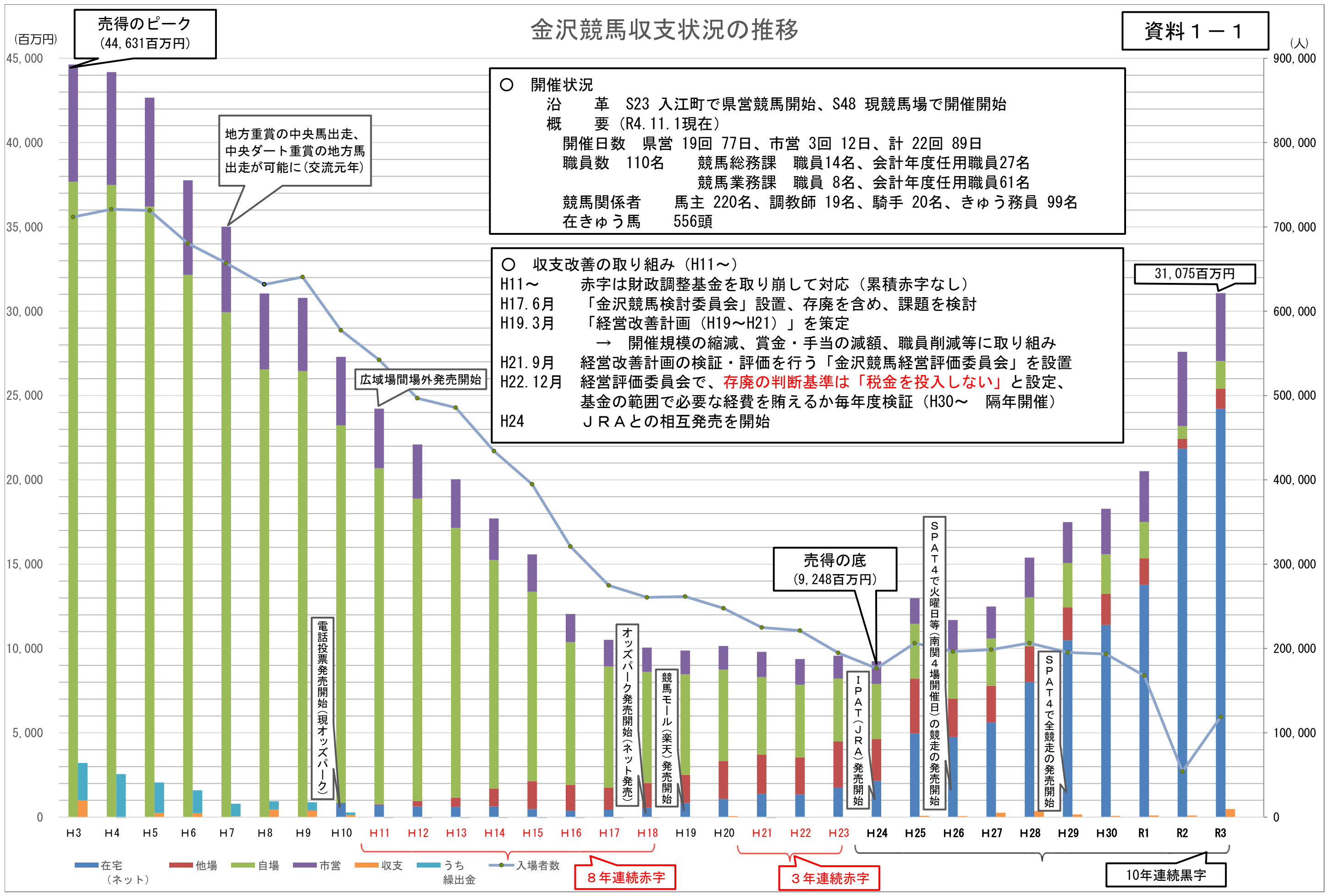


金沢競馬収支状況の推移

資料 1 - 1



○ 開催状況
沿革 S23 入江町で県営競馬開始、S48 現競馬場で開催開始
概要 (R4.11.1現在)
開催日数 県営 19回 77日、市営 3回 12日、計 22回 89日
職員数 110名 競馬総務課 職員14名、会計年度任用職員27名
競馬業務課 職員 8名、会計年度任用職員61名
競馬関係者 馬主 220名、調教師 19名、騎手 20名、きゅう務員 99名
在きゅう馬 556頭

○ 収支改善の取り組み (H11~)
H11~ 赤字は財政調整基金を取り崩して対応 (累積赤字なし)
H17.6月 「金沢競馬検討委員会」設置、存廃を含め、課題を検討
H19.3月 「経営改善計画 (H19~H21)」を策定
→ 開催規模の縮減、賞金・手当の減額、職員削減等に取り組み
H21.9月 経営改善計画の検証・評価を行う「金沢競馬経営評価委員会」を設置
H22.12月 経営評価委員会で、**存廃の判断基準は「税金を投入しない」と設定**、
基金の範囲に必要な経費を賄えるか毎年度検証 (H30~ 隔年開催)
H24 JRAとの相互発売を開始

地方重賞の中央馬出走、
中央ダート重賞の地方馬
出走が可能に(交流元年)

広域場間場外発売開始

電話投票発売開始(現オッズパーク)

オッズパーク発売開始(ネット発売)

競馬モール(楽天)発売開始

IPAT(JRA)発売開始

SPAT4で火曜日等(南関4場開催日)の競走の発売開始

SPAT4で全競走の発売開始

在宅(ネット) 他場 自場 市営 収支 うち線出金 入場者数